

# らいてうの家

通信54号

2020.1.1

・・・平和・協同・自然のひろば・・・

らいてうの家

〒386-2201 長野県上田市真田町長 1278-720

TEL fax : 0268-74-1385

NPO 平塚らいてうの会

〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20 5F

TEL fax : 03-3818-8626

## 一年間のあるひとこま



オープニング後の食事会



お茶会



講演の後の座談会



ワックスがけ

## 台風19号によるらいてうの家の被害

台風19号で玄関手前左側の木が倒れました。幸い電線がクッションになりスロープを傷つけることはありませんでした。このほかにも強風によって屋根を直撃する可能性がある木が8本ほどあります。これらの木も早めに伐採する予定です。それらを賄う費用が足りません。引き続き皆様カンパのご協力をお願いしたいと思います。



## <家の補修でこんな風になりました>

- ・ 屋根、外壁、門柱、スロープを塗装し直しました。さらに撥水作用のあるガラスコーティングを施しました。これで新築時同様の姿に戻りました。
- ・ 玄関に掲げてある木の額「らいてうの家」も洗って墨で字を塗り直しさらにコーティングしました。
- ・ 玄関の軒天にスズメバチの巣があったので除去しました。

## <家に使われている柱や建材はどこから>

- ・ 玄関外左右2本の柱…家の庭にあった赤松
- ・ 室内 大黒柱…真田町傍陽産（関さん）の杉目通り60 cm以上 高さ6 m以上（元の木はもっと高いということです）
- ・ 内壁 真田産 長野県産 カラ松
- ・ 床…真田産 長野県産 赤松（なるべく家の近くにある木を使い、足りない分は県産のものを使用しました）

## <来訪者の感想>

- ・ オープンコンサート、素晴らしいソプラノに体中が揺さぶられました。
- ・ 年間研究がきちんと終わりますように。
- ・ 人の役に立てる仕事がしたい。
- ・ 貴重な知識を得ることができました。今の平和に感謝です。これからも大切に守り続けていきたいです。
- ・ 清々しいらいてうの里がいつまでも温かく私たちを迎えてくれますように。
- ・ 星の観察会に参加させていただきました。コンサートも星座に関する話も心に残りました。
- ・ 世界一の登山家になりたい！みんなが幸せになりますように。
- ・ ひらつからいちょうの事が知れて楽しかったです。また来たいと思っています。Happy Love（原文のまま）
- ・ 女性の先がけのらいてうさん。あの時代に意志を貫いたことに感動です。（9月6日）
- ・ もう少し長く開けるようにお願いします。
- ・ りいてうさんについて調べています。丁寧な説明とらいてうさんの働きぶりに感動しました。大人になったらもう一度来たいです。（神奈川県川崎市）
- ・ 昨日「昔語り」で市場先生の講演があり来ましたので2日続けて来館しました。今日は当番として・・・。
- ・ 秋も深まり、野こん菊の花が緑の中で静かに咲いています。山野草では、これからワレモコウやカエデの葉の紅葉が美しくなりつつあります。朝から晴れわたった、すがすがしい一日でした。
- ・ どうとうやって来ました。最後まで失望せずに「やる」ことですね。（京都）

## 反省会（11 / 1） 今後の課題をまとめてみる

- ・ 次世代の人にどう知らしめて行ったらいいか。
- ・ 中高生が夏休みの自由研究として「らいてう」を選んでいる。そういう人が来訪し熱心に勉強していく。もっと中高生の目線で捉え発信していくように工夫していけばいい。
- ・ 地元の中学生にここに家があることをもっと知ってもらいたい。それには学校の先生達を知り学んでもらうよう取り組みを考える。身近にいる先生たちに呼びかけ、書籍を紹介しよう。
- ・ オープニングのチラシは上小図書館に配ったが丸子図書館などには未配布だったので次は広範囲に配る。
- ・ 男性も関わって欲しい。男性と女性の関係性にも考えを広げていってもいいのでは。例えば家庭の中の男女平等とは。
- ・ 「らいてう」そのものに立ち返って学習したい。らいてうの精神性についてなど。



- ・ 団体客の方が個人の客よりすごく多いとはなっていない。団体客がもっと増える取り組みを考える。
- ・ いろんなグループに入っている人はそういうところでらいてうの話をしていく。
- ・ 庭の草刈りは笹刈りを中心にして遊歩道だけ草を刈ればいいのか。